

GLOBAL REPORT

第 31 号 3 月 22 日

今年度もあと数日となりましたが、皆さんにとってどんな一年でしたか？新しい学年に向けての準備の時期だと思いますが、この先どんな一年にするかは皆さん次第です。決意をもって実行することにより、未来は変わります。心に余裕を持ちつつも、精一杯、毎日を大切にしながら皆さんが日々過ごせますように！

今回のグローバルレポートでは、ポートランドで出会ったグローバルな女性をご紹介します。

2017 年 12 月 25 日にアメリカの永住権を取得したことをきっかけに、再渡米後、去年の 9 月からオレゴン州のポートランドに移住しました。最近の 1 番の悩みは、自分が本当にしたいことが何なのか分からないこと。そして簡単には友達ができないこと。そんな重大な悩みを抱えながら兄の営む小さな店の手伝いをしていたら、素敵な日本人女性に出会いました。人との出会いは、人生を変え、豊かにしてくれます。恥ずかしかったのですが、「もしよかったら友達になってくれませんか？」の一言から始まったご縁です。

なつみさん ポートランド在住 20 代の女性

北九州出身。3 年半前にフィラデルフィア、カリフォルニア州フリーモントで語学留学をし、コミュニティーカレッジに通学後にポートランドへ移住。1 年後にポートランドのコミュニティーカレッジを卒業し、現在起業の準備中。

中・高校時代の事を聞かせてください。

中学校の校則に疑問を感じ、生徒会に入って変えようと努力をしました。中学校卒業後には、両親からは高校進学を勧められましたが、「すぐに辞めてしまっても金銭の無駄使いだろう」と断り、就職を決断しました。ポジティブ思考な性格で、小さい頃から周囲には一切弱音を吐かずに、**「解決策は自分の中にある」**を貫いたのですが、後々になるとその頑張りのストレスが蓄積してきたと感じたので、今では周りに悩みを相談するようにしています。

渡米のきっかけを教えてください。

昼の仕事では、**環境の大切さ**に気づきました。夜の仕事では、**勉強は選択肢を広げてくれる**ことに気がつきました。いろいろな仕事を経験する中で、**自分のしたいことが具体的に見え**、渡米を決めました。

アメリカでの学校選びや編入学について教えてください。

渡米にあたっては、留学エージェントを利用しました。一度目の面接では落選しましたが、二度目の面接で学生ビザを取得することができました。コミュニティーカレッジに入学する前に、フィラデルフィアにある英語語学学校に通いました。フィラデルフィアは大都市ですが日本人が少なく、ヨーロッパを感じさせる歴史があり、街を散歩するだけでも楽しめる街で、英

語の勉強には最適な都市です。

カリフォルニア州のフリーモントにあるコミュニティカレッジでは、のちに大学に入って環境学を学ぼうと考え、一般教養課程、地学、数学、化学、パーマカルチャー、環境保全等を選択しました。アメリカで別のコミュニティカレッジに編入学する際は、単位の構成が学校により異なるために移行の時に手違い等が起こりやすいので、その際には確認をして、すぐに指摘することをオススメします。ポートランドのコミュニティカレッジでは、コーヒー豆の焙煎に関するクラスもあります。

The Rebuilding Center でのボランティア活動について聞かせてください。

建築の解体で出た廃材物や、寄付された物を破格の値段で販売している NPO 法人です。私はその照明コーナーで、ボランティアとして、照明を磨き、色別に選別等をする作業をしています。まだ使用可能な物がゴミとして廃棄される中、環境、地域経済、市民に役に立つ事を目指している団体です。事務作業から店舗販売まで、様々なボランティアがあり、希望した部門で活動をさせてもらえます。

なつみさんの夢を教えてください

私の漠然とした夢は、自然環境と人間社会のバランスが取れるような生活環境を人々に提供する事です。それぞれの人生の価値観や楽しみを優先しつつも、その生活の中に環境を配慮する要素を少しでも組み込めるような流れを、もっと作りたいと思っています。まずは、日本のスーパーフードであるおからパウダーを通して、ポートランドで健康と環境のバランスをとる食生活のお手伝いをする事。そして、ある程度お金を貯めた後、大学で環境建築を勉強して、**環境に配慮した家に自分の家族と幸せに暮らす**こと。

出雲高校の皆さんへのメッセージ

自分の良さを活かしつつ、**自分のしたい事を見つけてください**。やり方は**十人十色**です。友達、親、周りの信頼できる人、自分の行きたい道で活躍している人に話を聞いたり相談したりする事で、また違った考えが聞けるので、色々な人に出会ってみてください。しかし、周りの人の考えに流されすぎて、**自分の考えを失わないように！**

著者からのメッセージ

これから新学期を迎える皆さんの毎日が、楽しく心が満たされるものとなるよう心から願っています。変化や未知のことは楽しい！と自分の心に言ってみてください。そして、皆さんがご両親から頂いた、人生を自分の思うように生きるための知識と勇気が、皆さん一人一人の中にあると信じてください。

人生は、一度きり。思いっきり楽しみ、喜び一杯の人生を家族や友達と共有してください。

感謝 吉野愛